



やすらぐ
安
富岡 勝則

皆さんこんにちは。

うっとうしい梅雨が間もなく明け、夏本番になろうとしています。今年は去年より2週間も早い梅雨入りだったので、この分だと梅雨明けも早まり、「彩夏祭」は雨の心配がなくなるかなと、少し期待しています。

さて、6月4日に東日本大震災の被害が大きかった岩手県宮古市や釜石市を視察してきました。毎日のようにテレビの映像や新聞の写真などを見ていたので、ある程度の心づもりはありましたが、津波に飲み込まれ住宅の土台だけが残る光景や、道路の両脇に高く積まれたがれきの山を目の当たりにして、私は声を失いました。がれきの中には生活の痕跡がうかがわれ、われわれから見ればただのがれきでも、この地で暮らしていた方々にとっては、大切な思い出がたくさん詰まった特別なものなのではと目頭が

熱くなりました。

視察を終え、あらためて地震や津波による被害の大きさを肌で感じ、震災からの復興に少しでも協力しなければという思いを一層深めました。

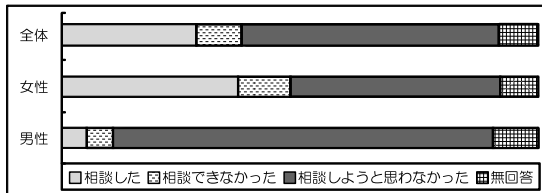
ところで、福島第一原発事故による放射能汚染について、たいへん心配な日々が続いています。市民の皆さんの関心も高いようで、「日ごろ子どもたちが過ごしている学校や保育園などの放射線量がとても気になる」というご意見をたくさんいただきました。私は保護者の皆さんや子どもたちが少しでも安心して過ごすことができるようにと思い、小・中学校や保育園、市内120か所の公園について放射線量の測定を行いました。また、5月25日から1日4回、市役所正面玄関で大気中の放射線量の測定を始めたほか、これから夏に向けてプールを楽しみにしている子どもたちのため、市内の小・中学校と溝沼子どもプールで、プールの水の放射性物質の検査も行いました。皆さんの生活に欠かせない水道水も含め、今のところまったく問題のない値ですのでご安心ください。測定は今後も定期的続け、市ホームページで公表していきますので、ぜひご覧いただいて、生活の目安にいただければ幸いです。

ではまた。

朝霞市は 男女平等を進めています

—市民意識調査結果から見えてきたこと④— 「配偶者等から暴力を受けたとき、誰かに相談したか」

「暴力を受けたとき、誰かに相談したか」の調査では、「相談した」が28.4%、「相談できなかった」が9.5%、「相談しようと思わなかった」は54.2%でした。性別で見ると、暴力を受けたことのある女性のうち37.2%は「相談した」と回答しているのに対し、暴力を受けたことのある男性の80%は「相談しようと思わなかった」と回答しており、**男性が女性に比べ、暴力を受けたことをほかの人に相談しにくい傾向**があることがわかります。



「暴力を受けたとき、誰かに相談したか」を年齢階級別にみると、70代以上で「相談しようと思わなかった」の回答が多く、男女共同参画、男女平等などの社会環境や教育の機会などが少ない時代を長く過ごしてきた方たちのための啓発も必要であると考えられます。

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。
☎/人権庶務課 内2255 ☎463-2697

ひとの推移

人口 13万1,386人 (+ 94人) 世帯数 5万9,707世帯
男 6万6,968人 (+ 29人) (+ 53世帯)
女 6万4,418人 (+ 65人) 平成23年6月1日現在()内は前月比

“ひと”の輪が素敵に朝霞をつくる” 日本女性会議参加者募集

日本女性会議は、男女が性差や世代を超えて支え合う社会を築くために、各都市で毎年開催されている全国規模の会議です。学んでみたい、熱気に満ちた会場の空気にふれてみたいと思われ方、ぜひ参加してみませんか！
※昨年度参加者による報告書が各公共施設にありますので、参考にご覧ください。

会議開催期間/10月14日(金)~15日(土)

開催場所/島根県松江市

募集人員/3人

対象/満18歳以上の市民で、次のいずれかに該当する方

- ・男女平等の推進に関心がある
- ・男女平等推進行政に協力し活動をしていただけ
- ・男女平等の推進に関係する活動をしている(していた)

参加費/参加に係る費用の3分1(2万円程度)
※免除制度あり

申込方法/人権庶務課で配布する申込書に必要事項を記載のうえ、お申し込みください。

申込締切/7月15日(金)

※参加後、報告書を提出していただく予定です。

☎/人権庶務課 内2255 ☎463-2697